

## ～迷うから、真剣になれる～

ノンゼミ M.A.さん 単独インタビュー

**経ゼミ委員**：ノンゼミだった背景は？

**M.A.さん**：2年生の時に実は留年してしまって...！1回目にはとあるMゼミに入ろうと思っていたので、ESも提出して、課題もやったのですが、まさか自分が留年しているとは思わず、必修を落としてしまって留年が決まって入ゼミ試験を受けられず(笑)

それから1年が経って、2回目に受けようと思ったときは結局あまりそのゼミ以外興味をもてなかったというか、ゼミの情報収集をあまり積極的にしていなかったというのもあるのですが、そのゼミに2回目の年も入ろうと思っていたのですが、**その年にそのゼミは募集停止になってしまいました...**。それでもういいやという感じで、サークルの方も忙しかったので、そちらに集中しようと思ったのが背景ですね。

**経ゼミ委員**：2回目の年は、説明会やオープンゼミといった入ゼミイベントに参加されましたか？

**M.A.さん**：実は、2回目の年は参加していなくて。1回目のときは結構ゼミの情報収集をしていたのですが、Mゼミがあるというのはわかっていたので、**もうこれ以上情報収集する必要はないかなと思ってちょっと後悔している**ところなのですが(笑)してなかったですね、あまり。

**経ゼミ委員**：1回目の年は、どうしてMゼミに興味をもたれたのですか？

**M.A.さん**：そうですね、内容的に自分が**1番興味があることだったのが1番**ですね。あとは、その時Twitterで情報収集をしていたのですが、**ゼミの雰囲気は1番良かった**と思ったのと、**海外に研修に行ったりしているのもいいな**と思いましたね。

**経ゼミ委員**：最終的にノンゼミであったことで後悔したことはありますか？

**M.A.さん**：いくつかありますが、1番大きかったのは、**就職活動のときに少し後悔するかな**というのがありまして。

というのも、面接で例えば、「あなたは大学時代に何をしてきましたか？」と聞かれたときに、もちろん自分はサークルだったり他のことを頑張っていたっちゃ頑張っていたので言え

なのですが、じゃあ「あなたは大学で何を学んできたの?」と言われたときに、**ノンゼミだと専攻という専攻がない**んですよ。というのも(ゼミで得られるはずの)12単位分を別の授業でまかなわなければならないので、それが統一性がなかったり、自分のとりたいものを色々履修したりすると、**自分が本当に1番何を学んできたんだ**という、経済学っていう大まかなことしか言えなくなっちゃうんですね。それなので、そういう風になってくると、**ゼミに入っていたら、私はこういうことを学んで、こういうことを研究して、こういうことについて論文を書いているんです、って言える**じゃないですか。

それなので、そこが1番の後悔になるかなと思います。

**経ゼミ委員**：なるほど。その他にはどのような点がありますか？

**M.A.さん**：**ゼミに入るとコミュニティが1つ増える**ということがあると思います。

当事者ではないので何とも言えないのですが、**1つ慶應義塾大学という大きなコミュニティの中で、さらに強固な小さいコミュニティができるのは羨ましいな**あと思います。

例えば、サークルだと大きすぎたり、あとは僕の場合他大学の大きなサークルに入っていたというのもあって、(同じ大学のコミュニティは)クラスの子たちとかしかいなくて(笑)

そういう人って結構いると思っていて、**サークルに入らなかつたり、大学はただ行くだけで友達いないわ**っていう人だったり。そういう人は、特に**ゼミに入ったらいいコミュニティができるんじゃないかな**という風に思いますね。

言葉にするのは難しいのですが、それこそ就活の情報だったり、テストの情報だったり、結構回ってくるんじゃないかなと思うので、入っておけばよかったなと思います(笑)

**経ゼミ委員**：それでは、反対に**ノンゼミで良かったところ**は何でしょうか？

**M.A.さん**：**ゼミに入っている友人の話**を聞くと、**自分の興味のないところに入ってしまおうと、もう地獄で仕方がない**と。時間の無駄にしか感じられないじゃないですけど、負け惜しみに聞こえるかもしれませんが**ノンゼミだと時間が増える**と思います(笑)

ゼミに入っている友達と、ノンゼミの友達が半々くらいいるのですが、**ノンゼミの友達はみんな自分のやりたいことをすごいたくさんやっている**なと思います。

自分はダンスサークルに入っているのですが、**ダンスサークルにずっと打ち込めていましたし、他にもベンチャーの企業でずっとインターンをやっている子**とかがいるので、そこはメリットかなと思います。

**経ゼミ委員**：M.A.さんと同じような境遇の人や、ゼミ選びで何だかモチベーションがわかない人へはどのようなアドバイスがありますか？

**M.A.さん**：そうですね、自分自身もそのときはゼミって結局何のために入るんだっつけ、だったり、ゼミに入ること对自己に対して何かメリットがあるのかなってすごく思っていたというのはありました。

それなので、本当に興味のあることじゃないと、入りたくないなと思っていたから、こうすごい絞っちゃっていたというのがあるので。だから、ちょっと広い目で見てほしいな、という風に思いますね！！

せっかく色々なチャンスがあるので、たとえ今その時点で興味がなかったとしても、もしかしたら、3年生のときに、4年生のときに、授業をとって「あ、これけっこう面白かったかもな」って思うことがあるかもしれないので、そこでチャンスを狭めてほしくないです。僕みたいに。

もうちょっと、もう一歩、広い目でみて、情報収集をしてほしいなと思いますね。

自分の場合、計量経済学に最初から興味がなかったのですが、計量経済学をやっているゼミに自分からアプローチをしなかったんですね。だから、いちいち全てのところに少なくともコンタクトをとっておけばよかったなと思います。

**経ゼミ委員**：勝手なイメージで、詳しく知らないまま初めから絞ってしまうこともありますもんね。

**M.A.さん**：そうですね、あとは、サークルが2年生ですごく忙しかったり、「今」やることがあったとしても、引退したら何をやるのだったり、その先のことを考えた方がいいんじゃないかなと思います。

就活のこともそうですけれど、「学生時代何を頑張ったの？」と言われたときに、いま何か胸を張って言えることはあるのか？、「学業で何頑張っているの？」と聞かれたときに、自分が今頑張っていることがあるのかな？って先を考えていただきたいなと思います。

**経ゼミ委員**：入ゼミ試験の倍率が高いことを不安に思っている2年生に何かメッセージはありますか？

**M.A.さん**：そうですね、自分が言うのもおかしいなと思うのですが(笑)ただ、妥協するのはもったいなくないですか？とっていて。何となくでゼミに入りたいと思っている人は、落ちてもいいやと思っているからどうでもいいのですが、倍率が高いからとやめて、後から後悔するのはすごく悲しいことだと思うので。そこで諦めるのではなくてがんばってほしいな、ってすごく当たり前のことしか言えないのですが(笑)そこを気にしてほしくないなって思います。

たぶん教授とかって見ていると思うんですよ、本当に入りたい人が誰でって。全然わからないですけど(笑)でも、本当にこの人は頑張ってくれるんじゃないかなって思う人は見ていると思うので、自分が強い意志をもってそのゼミに入りたいと思っていたら、その倍率は余裕だと思います！！

自分の身の回りの人を考えると、たぶん2年生の時点で、自分の将来を考えている人のほうが少ないとっていて、**ちゃんと自分の将来のことを考えて、ゼミのことを考えている人って絶対自分の希望通りのゼミに入れるんだろうな**って思います。

**経ゼミ委員**：身の回りの4年生の方で、ゼミ選択について、入ったゼミについて、ゼミに入らなかったことについて、**どのようにお話しされている方がいますか？**

**M.A.さん**：けっこう自分の身の回りに同じような境遇の人がいて。8人で仲がよいのですが、その内の6人が実は留年していて(笑) その内の5人がゼミに入らなくて、1人しかゼミに入っていないのですが、**みんな全然違う人生を歩んでて！**

入っていない人たちは入っていない人たちで、ゼミに入らなかったことに対して、**全く後悔していない様子**なんですね。というのも、自分でベンチャーを立ち上げてやっていたり、やりたいことをずっとやり続けてオンラインの学校に通っていたりしている人もいて。

**ゼミに入った子は入った子で、本当にすごく充実しているって話を聞くんですね。ゼミがやりたいこととマッチしていたという感じで！**

結局、各々やりたいことをやっているから、あまり不満とかは聞かないですね。みんなそれぞれの道でうまくいったという感じですね。

**経ゼミ委員**：そのようなノンゼミの方々は、「入ゼミ試験を受ける前に、自分はゼミに入らずにこれをやっていくんだ！」とノンゼミを選ばれたのでしょうか？それとも、「入ゼミ試験を受けたがゼミに入れなかったので、残りの学生生活をどう過ごそうと考えた結果」なののでしょうか？

**M.A.さん**：たぶん**みんな入ゼミ試験は受けていたと思います！**ただ、みんな同じような感じで「受かったら入ろうかな」みたいなノリだったと思います。それでそのあとみんなけっこう考えていましたね(笑)

**経ゼミ委員**：今、迷っている2年生に対して、何かアドバイスはありますか？

**M.A.さん**：今迷っている2年生の人って、**自分のことを真剣に考えている人だと思うんですよ。自分も迷えるくらい真剣に考えておけばよかったと、少し後悔しているんです。**ゼミに入った方が自分のためになるのか、ノンゼミになった方が自分のためになるのかは、どちらとも言えない。**ゼミに入ることが人生のすべてではないし、ノンゼミになることが良い人生というわけでもない。だから、もっと迷ってほしい、と僕は思います。**その先に本当にやりたいことが見えてくるはずですよ。

**経ゼミ委員**：もし、ノンゼミになってしまった時は、どうすればいいのでしょうか？

**M.A.さん**：本当に入りたかったゼミに入れなかったときは、**逆にそれをチャンスに変えれば良い**と思うんです。ゼミに入れなかったのなら、それ以上のことを見つけようとしてほしいですね。ゼミだけが人生だけではないので！(笑) **何事もポジティブ**に考えてみてください！

**経ゼミ委員**：そうですね、ポジティブ思考は大切ですね！  
本日はありがとうございました！

#### 【編集後記】

今回は第5回目のインタビューでした。毎回、新鮮な視点でお話を聴くことが出来るので、インタビューする側はとても楽しくやっております。

今回も沢山の素晴らしいメッセージがありました。初めてノンゼミの方とのインタビューで、私たちが普段見ている景色とは違った視点の考えがありました。

タイトルにも設定したように、「迷えるから、真剣になれる」というお言葉はとても刺さりました。これは今、これからゼミ試験を受けようとしていて真剣に悩んでいる皆さんの応援メッセージというか、迷っていることは真剣になれている証拠なんだよ！と後押ししたくてこのタイトルにしました。本当にこれからの人生はどうしていきたいのか、ということを考えるのにとっても良い時期だと思いますので、思いっきり悩んでみてください。

最後までお読みくださり、ありがとうございました。

(登内美月、田中麻里安)